

計 算 書 類

第 38 期

〔 2014 年 4 月 1 日から  
2015 年 3 月 31 日まで 〕

大阪府八尾市弓削町南三丁目 20 番地 2

株式会社 島田組

# 貸借対照表

(2015年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流 動 資 産</b>	<b>1,064,176</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>389,004</b>
現金預金	563,031	工事未払金	115,615
受取手形	13,033	未払金	11,840
完成工事未収入金	427,288	未払費用	10,655
未成工事支出金	23,440	未払法人税等	134,040
前払費用	570	未成工事受入金	16,947
仮払金	8,092	預り金	7,479
繰延税金資産	34,420	賞与引当金	40,400
貸倒引当金	▲5,700	未払消費税	52,025
<b>固 定 資 産</b>	<b>87,650</b>	<b>固 定 負 債</b>	<b>4,146</b>
<b>有 形 固 定 資 産</b>	<b>37,642</b>	退職給付引当金	4,146
建物・構築物	11,124		
機械装置	897		
車両運搬具	0		
工具器具備品	25,620		
		<b>負 債 合 計</b>	<b>393,150</b>
		<b>純 資 産 の 部</b>	
		<b>株 主 資 本</b>	<b>758,675</b>
<b>無 形 固 定 資 産</b>	<b>6,018</b>	資 本 金	85,000
電話加入権	94	利 益 剰 余 金	673,675
ソフトウェア	5,924	利 益 準 備 金	21,250
		そ の 他 利 益 剰 余 金	652,425
<b>投 資 そ の 他 の 資 産</b>	<b>43,989</b>	別 途 積 立 金	50,000
長期未収入金	0	繰越利益剰余金	602,425
出資金	210		
保証金	42,309		
長期繰延税金資産	1,470		
		<b>純 資 産 合 計</b>	<b>758,675</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>1,151,826</b>	<b>負 債 純 資 産 合 計</b>	<b>1,151,826</b>

## 個別注記表

1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

### 2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1) 資産の評価基準および評価方法

①有価証券

その他の有価証券  
時価のあるもの

決算日の市場価格等にもとづく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。)

時価のないもの

移動平均法による原価法

②たな卸資産

未成工事支出金

個別法による原価法

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

定率法

ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)については定額法を採用しております。

②無形固定資産

定額法

#### (3) 引当金の計上基準

①貸倒引当金

売上債権、貸付金等の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

②工事損失引当金

受注工事に係る将来の損失に備えるため、当事業年度末手持工事のうち損失の発生が見込まれ、かつ、その金額を合理的に見積ることができる工事について、損失見込額を計上することにしております。

③賞与引当金

従業員の賞与の支給に充てるため、当事業年度に負担すべき賞与支給見込額を計上しております。

#### (4) 完成工事高の計上基準

売上高のうち完成工事高の計上基準は、当事業年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗度の見積りは原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

#### (5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

### 3. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 73,619千円

(2) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務  
短期金銭債務 559千円